

発行所

日報ビジネス 株式会社  
Vision Vitality Victory(東京) 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5  
電話03(3262)3488 FAX03(5210)6633  
(大阪) 〒541-0051 大阪市中央区北久宝町1-5-11  
電話06(6262)2466 FAX06(6262)2090

6月21日 No.1541

—2021年(令和3年)—

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税  
(定期) 1部公体 495円+税

## 循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

環境のミカタ  
三社連携全工場にCO<sub>2</sub>フリー電力

エネの地産地消を推進

環境のミカタ（静岡県焼津市、渡辺和良社長、☎054-622-1130）は、アーバンエナジー（横浜市、原恵子社長）と契約し、県内の自社6工場で利用している高圧電力を、7月からCO<sub>2</sub>フリー電力に全て切り換える。併せて、同社が収集した食品廃棄物などを県内のバイオガス発電設置で電力に変換し、排出事業者に還

元する「エネルギー・サイクループ」のサービスを開始する。

パンエナジー（静岡県焼津市、渡辺和良社長、☎054-622-1130）は、アーバンエナジー（横浜市、原恵子社長）と契約し、県内の自社6工場で利用している高圧電力を、7月からCO<sub>2</sub>排出削減に向

けた一連の取り組みは、廃棄物収集運搬、処理・リサイクルを手掛ける同社が、JFEケループの新電力事業

会社アーバンエナジー、バイオガス発電事業を手掛けるアーキアエナジー・ケループのケネシス（静岡県牧之原市、大橋徳久社長）と

地産地消の再エネ電力を購入し、全6工場で使用する年間345万6,000kWh時の高圧電力から切り替えること

で、284トントンのCO<sub>2</sub>削減につなげる。

環境のミカタは、産業を手掛けるアーキアエナジー・ケループのケネシス（静岡県牧之原市、大橋徳久社長）と

連携してスタートする。

環境のミカタは自社で取り組む太陽光発電の電力を、同社が食品廃棄物を搬入するエネルギーをバイオガス発電による電力をアーバンエナジーに充電。アーバンエナジーからは、環境のミカタがCO<sub>2</sub>フリーの再エネ電力を購入し、全6工場で使用する年間345万6,000kWh時の高圧電力から切り替えることとして還元することとして、CO<sub>2</sub>の大削減につながる新たなサービスを提案する。

今回の取り組みについて、渡辺社長は「SDGsの取り組みの一環として、環境のミカタモデルとなる新たな環境のミカタは、産業を手掛けるアーキアエナジー・ケループのケネシス（静岡県牧之原市、大橋徳久社長）と

10月に社名を変更、現在に至る。

今回の取り組みについて、渡辺社長は「SDGsの取り組みの一環として、環境のミカタモデルとなる新たな環境のミカタは、産業を手掛けるアーキアエナジー・ケループのケネシス（静岡県牧之原市、大橋徳久社長）と